

# 全日本柔道連盟公認Cライセンス審判員試験

## 1 日時

令和4年5月1日(日)

- 受付 8:30～9:00
- 審判講習会 9:00～10:00(Cライセンス取得者向けの講習会)
- 実技試験 10:00～12:00(昇段試験で実施)
- 筆記試験 13:00～14:00

## 2 場所

大垣市武道館 (大垣市米野2-1-1 TEL0584-88-2550)

## 3 受験資格

- 本年度岐阜県柔道協会に登録している20歳以上の有段者で各地区より推薦を受けた者。
- ※ 各地区は受験者に対し、責任を持って審判技術の向上を図ること。

## 4 試験内容

- (1) 実技試験(昇段試験の審判)
- (2) 筆記試験～「国際柔道連盟試合審判規定・少年大会申し合わせ事項」(最新版)より出題

## 5 受験参考資料

- 全柔連ホームページ参照

## 6 受験申込

- (1) 各地区は、別紙により申し込む。
- (2) 申込先  
〒500-8384  
岐阜市藪田南1-11-12 水産会館6階612号  
岐阜県柔道協会 事務局
- (3) 受験料 2,000円(試験当日受付で集金する)
- (4) 申込期限  
令和4年4月11日(月)必着

# 岐阜県柔道段別大会

## 1 日 時

令和4年5月1日(日)

- 受付 12:30~13:00
- 試合 13:30~

## 2 場 所

大垣市武道館 (大垣市米野2-1-1 TEL0584-88-2550)

## 3 参加資格

- (1) 本年度岐阜県柔道協会に登録している者(当日登録可)。
- (2) 23歳以上(2022年4月1日時点)。

## 4 試 合

### ◎初三段の部

- (1) 23歳以上29歳以下の部、30歳以上の部の2部門で実施。出場人数によって変更有。
- (2) 4人1組のリーグ戦とする。
- (3) 試合審判は、講道館柔道試合審判規定による。
- (4) 試合時間は3分
- (5) 組み合わせは、年齢を考慮して事務局にて行う。

### ◎参四段の部

- (1) 23歳以上35歳以下の部、35歳以上の部の2部門で実施。出場人数によって変更有。
- (2) 4人1組のリーグ戦とする。
- (3) 試合審判は、講道館柔道試合審判規定による。
- (4) 試合時間は3分
- (5) 組み合わせは、年齢を考慮して事務局にて行う。

### ◎五六段の部

- (1) 1人1試合とする。
- (2) 試合審判は、講道館柔道試合審判規定による。
- (3) 試合時間は3分
- (4) 組み合わせは、年齢を考慮して事務局にて行う。

## 5 申 込

- (1) 別紙様式により郵送、FAXまたはメールにて下記へ申し込む。

### (2) 申込先

〒500-8384

岐阜市藪田南1-11-12 水産会館6階612号 岐阜県柔道協会 事務局

TEL 058-275-5313 FAX 058-216-1500

e-mail gifu.judo.kyokai0805@themis.ocn.ne.jp

※ FAXの場合は、必ず確認の電話を入れてください。

(平日10:00~16:00 ただし木曜日は事務局不在)

- (3) 参加料 3,000円(大会当日受付で集金する)

- (4) 申込期限 令和4年4月22日(金)必着

## 6 審判及び会場係は、出場選手が行う。

## 7 その他

- 昇段の点数となる。(参加点 0.25、勝敗に係る点数は昇段審査に準ずる)

## 【県八段最高特別審議会】

## 【県六段特別・七段最高特別審議会】

### ◎ 書類審査(各段)

#### 1 提出書類

(1) 推薦書(エクセル様式)は7・8段用及び6段用の所定の様式に必要事項を入力し提出すること。

※ 推薦書様式は岐阜県柔道協会ホームページからダウンロードして下さい。

(2) 履歴書～形式は自由で候補者の履歴書及び柔道歴が分かるもの。

※A4横書き(ワードまたはエクセル)で作成すること。

(3) 推薦書、履歴書ともメールにて下記岐阜県柔道協会事務局へ申し込むこと。

2 書類審査料 5,000円(書類と共に提出)

3 書類提出期限 令和4年6月6日(月)まで

#### 4 提出先

〒500-8384

岐阜市藪田南1-11-12 水産会館6階 612号

岐阜県柔道協会 事務局 TEL 058-275-5313

メールアドレス gifu.judo.kyokai0805@themis.ocn.ne.jp

#### 5 書類審議会

令和4年7月10日(日)午後1時～大垣市武道館 会議室(全日本ジュニア東海予選終了後)

### ◎ 県形審査(各段共通)

#### 1 実施日時

令和4年8月7日午前10時から

#### 2 場 所

岐阜メモリアルセンター柔道場

#### 3 形審査料

1,000円(当日納付)

◎ 東海審議(県の審議を合格された方は東海審議会を受けていただきます)

**【八段最高特別審議会】**

1. 日 時 令和4年8月21日(日)午前10時30分受付
2. 場 所 大垣市武道館 第1会議室(学科試験)・柔道場(形試験)
3. 実施時間割
  - 1) 審査会(学科試験) 午前10時45分～午前11時30分
  - 2) 審査会(形試験)「古式の形」午後1時～(国体東海地区予選終了後)
  - 3) 最高特別審議会
4. 学科試験  
論文形式とし、次の中から1つを選んで、当日筆記する。  
筆記する内容はA4の用紙に入る程度とし、簡潔に論述すること。  
ア 嘉納治五郎の業績について述べよ。  
イ 「古式の形」について述べよ。
5. 審議料 5,000円(当日納付)

**【六段特別・七段最高特別審議会】**

1. 日 時 令和4年10月2日(日)午後0時30分より受付
2. 場 所 大垣市武道館 柔道場
3. 実施時間割
  - 1) 審査会(学科試験) 午後1時～午後1時50分
  - 2) 審査会(形試験) 午後2時～  
六段「講道館護身術」  
七段「五の形」
- ※ 東海審議会において形審査は昇段候補者同士で行うという申し合わせをいたしました。  
各県候補者に周知徹底をお願いします。
- 3) 昼 食 形審査会終了後
- 4) 最高・特別審議会 昼食終了後
4. 学科試験  
論文形式とし、次の中から1つを選んで、当日筆記する。  
筆記する内容はA4の用紙に入る程度とし、簡潔に論述すること。
  - 1) 六段問題 ア 嘉納治五郎の業績について述べよ。  
イ 「講道館護身術」について述べよ。
  - 2) 七段問題 ア 嘉納治五郎の業績について述べよ。  
イ 「五の形」について述べよ。
5. 審議料 5,000円(当日納付)

# 第19回岐阜県小学生学年別柔道選手権大会

## 1 日時

令和4年5月29日(日)

- 役員集合・会場準備 8:30
- 開場 8:45
- 選手受付計量 8:50~9:30
- 審判監督会議 9:40~9:55
- 開会式 10:00

## 2 場所

大垣市武道館 (大垣市米野2-1-1 TEL0584-88-2550)

## 3 参加資格

- (1) 本年度全日本柔道連盟に登録している少年団体に所属している者
- (2) 種別及び体重区分

種別	体重区分		種別	体重区分	
4年生男子	40kg級	40kg超級	4年生女子	35kg級	35kg超級
5年生男子	45kg級	45kg超級	5年生女子	40kg級	40kg超級
6年生男子	50kg級	50kg超級	6年生女子	45kg級	45kg超級

## 4 参加料

500円

## 5 各地区推薦枠及び申込

- (1) 申込枠は下記のとおりとし、地区順位をつけて申し込むこと。なお、欠員ができた場合は事務局で調整し補充することができる。

種別	地区別	岐阜	西濃	中濃	東濃	飛騨	計
	全種別		4	3	3	4	2

- (2) 各地区事務局は別紙様式1により参加料とともに下記に申し込むこと。

〒500-8384

岐阜市藪田南1-11-12 水産会館6階 612号

岐阜県柔道協会 事務局

- (3) 申込期限

令和4年5月20日(金)必着 (地区予選終了後、速やか申込み願います。)

## 6 試合方法

- (1) 最新の国際柔道連盟試合審判規定・少年大会申し合わせ事項による。
- (2) 技の評価が同じ場合は旗判定により、時間内に必ず勝敗を決する。
- (3) 試合時間は3分とする。

## 7 表彰

各種別第3位まで表彰する。(各階級3位2名)

## 8 その他

- (1) 選手変更は、原則として試合前日までに申込先に届けられた者に限り認める。

- (2) 組合せ抽選は岐阜県柔道協会少年部事務局において行う。
- (3) 各自ゼッケンを着用すること。

9 派遣審判員(審判長除く)

- (1) 岐阜地区8名 西濃地区5名 中濃地区2名 東濃地区2名 飛騨地区1名
- (2) 各地区事務局は別紙様式2により試合申込と併せて報告すること。

10 補助員

少年部に一任。

11 その他

(1)

皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において、必ず確認すること。感染が疑わしい若しくは感染が判明した場合は、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会に出場できない場合もある。

(2) 脳震盪について、選手および指導者は下記事項を順守すること。

- ・ 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ・ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。  
(なお、至急、専門医[脳神経外科]の精査を受けること)
- ・ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ・ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

# 第58回岐阜県柔道体重別選手権大会

## 1 日時

令和4年6月5日(日)

- 役員集合・会場準備 8:30
- 開場 8:45
- 選手受付計量 8:50~9:20
- 審判監督会議 9:30~9:50
- 開会式 10:00

※ 高校の部は県高校総体個人戦と兼ねて5月22日(日)に実施する。詳細については県総体実施要項による。

## 2 場所

大垣市武道館 (大垣市米野2-1-1 TEL0584-88-2550)

## 3 参加資格

(1) 今年度岐阜県柔道協会に登録している者。

※ふるさと選手については県柔道協会登録を行うこと(登録費2,700円)。

(2) 各地区柔道協会から推薦を受けた者。

(3) 中学生は1級以上、一般は平成16年(西暦2004年)3月31日以前の出生者(2022年度に19歳以上になる者)で有段者とする。ただし、岐阜県柔道協会が認めた者については、出場を認める。

## 4 各地区推薦枠

種別 \ 地区別	岐阜	西濃	中濃	東濃	飛騨
一般	フ リ ー				
中学	5	3	3	3	2

## 5 体重区分

種別	体重区分			
一般男子	60kg以下	60kg~73kg以下	73kg~90kg以下	無差別
一般女子	57kg以下		無差別	
中学男子	55kg以下	55kg~66kg以下	66kg~81kg以下	81kg超
中学女子	44kg以下	44kg~52kg以下	52kg~63kg以下	63kg超

## 6 試合方法

(1) 原則としてトーナメント戦とするが、出場選手数が少数の場合はリーグ戦もあり得る。

(2) 最新の国際柔道連盟試合審判規定による。

(3) 試合時間は一般の部は4分、中学生の部を3分とする。

## 7 申込

(1) 申込方法

【一般の部】 全日本柔道連盟会員登録システム(大会申込)から所属チームごとに申込みすること。

- 上記システムによる申込みが出来ない場合は、各地区事務局長へ出場申込を依頼し、各地区よりメール及びFAXにて申込みすること。その際、参加料も各地区で取りまとめ、大会当日に県事務局に支払うこと。個人での直接申込みは受け付けない。

※ 申込方法の詳細は別添「チーム向け大会申込機能操作ガイド」を参照のこと。

※ 各地区で取りまとめた申込みは、別紙様式1による申込みを認めるが、組合わせ表作成の都合上、エクセルデータもメールにて送信すること。

※ 登録システムによる申込みの後の訂正は、申込期限内に、事務局にメールにて連絡すること。

○ 県外大学生は、別紙様式1により、下記申込先に申込みこと。

【中学生の部】各地区ごとに取りまとめ、別紙様式2により参加料とともに下記申込先に申込みこと。

(2) 申込先

〒500-8384

岐阜市藪田南1-11-12 水産会館6階 612号

岐阜県柔道協会 事務局

E-mail : [gifu.judo.kyokai0805@themis.ocn.ne.jp](mailto:gifu.judo.kyokai0805@themis.ocn.ne.jp)

(3) 申込期限

令和4年4月1日から同年5月13日(金)まで

8 参加料

一般の部 1,000円      中学生の部 500円

○ 支払方法

- ・ 登録システムを利用して申込みを行ったチームは、システムの指定する方法で支払うこと。その際の手数料は、各チームごとの負担とする。
- ・ 別紙様式1をもって申込みを行ったチーム及び選手は、大会当日、受付で納付すること。

9 表彰

各種別、区分とも原則3位まで表彰する。

10 国体選手選考について

- (1) 一般(成年男女)の部については国体選手選考の参考資料とする。
- (2) 少年については、他の県内及び東海大会の結果を参考に、国体選手選考委員会で協議し決定する。

11 派遣審判員(審判長を除く)

岐阜地区8名 西濃地区6名 中濃地区4名 東濃地区3名 飛騨地区3名

別紙様式2により試合申込と併せて報告すること。

12 補助員

主管地区(岐阜地区)に一任(16名)

13 その他

○ 中学生について

- (1) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において、必ず確認すること。感染が疑わしい若しくは感染が判明した場合は、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。  
選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会に出場できない場合もある。
- (2) 脳震盪について、選手および指導者は下記事項を順守すること。
  - ・ 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
  - ・ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。  
(なお、至急、専門医[脳神経外科]の精査を受けること)
  - ・ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
  - ・ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。



# 全日本ジュニア柔道体重別選手権大会岐阜県予選

## 1 日時

令和4年6月12日(日)

- 役員集合・会場準備 8:30
- 開場 8:45
- 選手受付計量 8:50~9:20
- 審判監督会議 9:30~9:50
- 開会式 10:00

## 2 場所

大垣市武道館 (大垣市米野2-1-1 TEL0584-88-2550)

## 3 参加資格

- (1) 日本国籍を有し、本年度岐阜県柔道協会に登録している者
- (2) 2002年1月1日以降、2007年12月31日以前の出生者  
※2022年中に15歳~20歳になる者
- (3) 岐阜県に在住または在学者で初段以上の者

## 4 各地区の推薦枠

男・女とも各階級2名以内とする。ただし、県高等学校体育連盟から推薦を受けた者、及び大学生については別扱いとする。

## 5 参加料

一般 1,000円 学生(中学、高校、大学生) 1000円

## 6 体重区分

種別	体重区分						
男子	60kg級	66kg級	73kg級	81kg級	90kg級	100kg級	100kg超級
女子	48kg級	52kg級	57kg級	63kg級	70kg級	78kg級	78kg超級

## 7 試合方法

- (1) 原則トーナメント戦とする。
- (2) 最新の国際柔道連盟試合審判規定による。
- (3) 試合時間は4分とする。
- (4) 組み合わせ抽選は事務局で行う。

## 8 申込

- (1) 各地区とりまとめて別紙様式1により参加費を添えて申し込む。  
※ 県高体連から推薦を受けたものを含む。  
大学生・専門学校生・定時制高校生については、直接、県事務局に参加費を添えて申し込むこと。その際、所属長名で申し込むこと(別紙様式1の地区会長名を所属長名とする)。

### (2) 申込先

〒500-8384

岐阜市藪田南1-11-12 水産会館6階 612号

岐阜県柔道協会 事務局

(3) 申込期限

令和4年5月27日(金)

9 その他

優勝者は、7月10日(日)「大垣市武道館」において開催される、全日本ジュニア柔道体重別選手権東海地区予選の出場権を得る。

10 派遣審判員(審判長を除く)

岐阜地区8名 西濃地区8名 中濃地区4名 東濃地区2名 飛騨地区2名  
別紙様式2により試合申込期限までに報告すること。(試合申込先に同じ)

11 補助員

高校生12名(西濃地区高体連一任)

12 その他

○ 中高生について

- (1) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において、必ず確認すること。感染が疑わしい若しくは感染が判明した場合は、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。  
選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会に出場できない場合もある。
- (2) 脳震盪について、選手および指導者は下記事項を順守すること。
  - ・大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
  - ・大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。  
(なお、至急、専門医[脳神経外科]の精査を受けること)
  - ・練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
  - ・当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

# 第73回岐阜県五地区対抗柔道大会 (第1回岐阜県女性交流会)

## 1 日時

令和4年10月16日(日)

- 役員集合・会場準備 8:00
- 受付 8:20~8:10
- 審判監督会議 8:40~8:55
- 開会式 9:00

## 2 場所

可児市錬成館 (可児市谷追間806-2 TEL 0574-62-8600)

## 3 参加資格

(1) 今年度岐阜県柔道協会に登録している者。

※ 各地区は必ず、参加選手の県登録を確認して申し込むこと。

(2) 岐阜県に在住、在勤、在学のいずれかの条件を満たしていること。

## 4 参加料

1チーム 5,000円

## 5 チーム編成

(1) チーム編成は以下のとおりとする。

順番	種別	体重区分
先鋒	中学女子	52kg以下
次鋒		無差別
十将	中学男子	66kg以下
九将		無差別
八将	高校女子	57kg以下
七将		無差別

順番	種別	体重区分
中堅	高校男子	73kg以下
六将		無差別
五将	一般女子	無差別
四将	一般男子	30歳未満
参将		
副将		30歳以上
大将		

※ 一般男子年齢は令和4年4月1日時点の年齢とし、年齢区分内での配列は自由とする。

※ 30歳以上の部は3名のエントリーを認め、試合ごとに選手を変えることができる。

(2) 中学・高校の体重区分は、その年度の県体重別柔道選手権地区予選、全国中学校柔道大会地区予選に出場した実績のある階級とし、計量は実施しない。

## 6 試合方法

(1) リーグ戦を行い13名の試合で勝敗を決定する。

(2) 最新の国際柔道連盟試合審判規定・少年大会特別規定による。

(3) 技の評価が同じ場合は引き分けとする。

(4) 試合時間は3分とする。

(5) 勝敗の決定は勝率高点法とする。同点の場合は引き分けとする。リーグ戦で同点の場合は内容を見る。それでも同点の場合は負けの内容を見る。それでも同点の場合は、各チームの監督が選出した選手による3分間の代表戦を行い、時間内に勝敗を決する。(ゴールデンスコアなし)

(6) 選手変更は当日の審判会議で了承された者に限る。

## 7 表彰

優勝、2位、全勝者を表彰する

## 8 申込

(1) 各地区事務局でとりまとめ、別紙様式により申し込むこと。

(2) 申込先

中濃地区柔道協会事務局

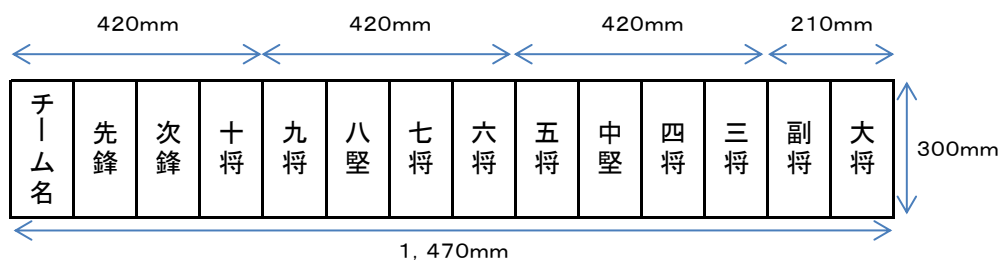
〒505-0075 加茂郡坂祝町取組46-46 片桐 徹方

(3) 申込・送付期限

令和4年9月16日(金)

## 9 オーダー表

申込書を基に主管地区(中濃地区)で作成する。



## 10 派遣審判員(審判長を除く)

岐阜地区2名、西濃地区1名、中濃地区4名、東濃地区2名、飛騨地区1名、事務局2名  
別紙様式により試合申込期限までに報告すること。

## 11 補助員

主管地区が担当する。

## 12 その他

○ 中高生について

(1) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において、必ず確認すること。感染が疑わしい若しくは感染が判明した場合は、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。

選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会に出場できない場合もある。

(2) 脳震盪について、選手および指導者は下記事項を順守すること。

- ・ 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ・ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医[脳神経外科]の精査を受けること)
- ・ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ・ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

## 13 主管は中濃地区とする。

## 14 その他

昇段の点数となる。

# 第30回岐阜県柔道形選手権大会

## 1 日 時

令和4年11月3日(日)

- 役員集合・会場準備 8:30
- 審判会議 8:50~9:20
- 受付 8:50~9:20
- 開会式 9:30

## 2 場 所

大垣市武道館 (大垣市米野2-1-1 TEL0584-88-2550)

## 3 参加資格

- 本年度岐阜県柔道協会の登録者で、各地区より推薦を受けた者。

## 4 出場枠

各部参加枠は各地区ともに以下の通りとする。

岐阜4組 西濃3組 中濃3組 東濃2組 飛騨2組

## 5 形の種別

- (1) 投の形 小・中学生の部 手技、腰技、足技
- (2) 投の形 高校の部 手技、腰技、足技、真捨身技、横捨身技
- (3) 柔の形 第一教、第二教、第三教

※各種目性別を問わない

## 6 試合方法

(1) 演技順は事務局で事前に抽選で決定する。

※ 出場チーム数により、予選、決勝方式を採用する場合がある。

(2) 受、取の交代はしない。

## 7 表 彰

各部門とも3位まで表彰する。

## 8 申 込

(1) 各地区とりまとめ、別紙様式により練度の高い順に記載し申し込むこと。

参加数に満たない地区があった場合、補充できる地区の出場を認めることとし、県事務局で調整するので、各地区は申込期限厳守で報告のこと。

(2) 申込先

〒500-8384

岐阜市藪田南1-11-12 水産会館6階612号

岐阜県柔道協会 事務局 宛

(3) 申込期限

令和4年10月7日(金)



# 令和4年度全日本柔道形競技大会岐阜県予選

## 1 日時

令和4年11月3日(日)

- 役員集合・会場準備 13:00
- 審判会議 13:15～13:45
- 受付 13:15～13:45
- 開会式 14:00

## 2 場所

大垣市武道館 (大垣市米野2-1-1 TEL0584-88-2550)

## 3 実施種目

「投の形」「柔の形」「固の形」「極の形」「五の形」「古式の形」「講道館護身術」

## 4 参加資格

- 一般・大学生以上で本年度岐阜県柔道協会に登録している者。
- ※ 地区の枠を超えた組の参加を認める。

## 5 競技方法

講道館柔道形競技規定により行う。

## 6 審査

- (1) 1種目3名の審査員で審査する。
- (2) 各形とも「全体の流れ」「礼法」及び「形」の各技を採点する。
- (3) 3名の審査員の合計点を各組の得点とする。

## 7 申込

(1) 別紙様式により参加者本人が下記に申し込む。

(2) 申込先

〒500-8384

岐阜市藪田南1-11-12 水産会館6階 612号

岐阜県柔道協会 事務局

(3) 申込期限

令和4年10月7日(金)必着

## 8 審査員

岐阜県柔道協会普及委員が推薦する審査員を事務局が指定し、その中から各種目ごとに3人ずつ指名して配置し、審査を行う。

## 9 その他

各形の優勝組は、次年度の東海柔道「形」競技大会に岐阜県代表選手として出場する。また、講道館「形」東海地区講習会を受講すること。

# 令和5年全日本柔道選手権大会岐阜県予選 第38回全日本女子柔道選手権大会岐阜県予選

## 1 日時

令和4年11月27日(日)10:00～

- 役員集合・会場準備 8:30
- 受付 9:10～9:30
- 審判会議 9:30～9:50
- 開会式 10:00

## 2 場所

大垣市武道館（大垣市米野2-1-1 TEL0584-88-2550）

## 3 出場資格

### (1) 男子

- ・ 日本国籍を有し、岐阜県に在住、在勤、在学のいずれかの条件を満たし、今年度岐阜県柔道協会に登録している者。
- ・ 参段以上の者  
※ 岐阜県柔道協会強化委員会が推薦した者に限り、三段以下でも出場することができる。

### (2) 女子

日本国籍を有し、本大会当日(令和5年4月)に中学2年生以上、初段以上であり、岐阜県に在住、在勤、在学のいずれかの条件を満たし、岐阜県柔道協会に登録しているものであること。

- ### (3) 男女とも卒業、転勤等により実体の伴う現住所の変更、勤務する会社、通学する学校の所在地に変更がある場合には、変更先の地区から出場することができる。ただし、この場合速やかに登録変更の手続を行わなければならない。

## 4 参加料

一般 1,000円 学生(中学、高校、大学) 1,000円

## 5 試合方法

- (1) 受付時の出場人員により事務局にて検討する。
- (2) 最新の国際柔道連盟試合審判規定および全日本選手権大会申し合わせ事項により行う。
- (3) 試合時間は男女とも4分間とする。
- (4) 試合時内でスコアに差が無い場合はゴールデンスコアによる時間無制限の延長戦を行う。
- (5) スコアは「一本」「技あり」「有効」の3種類とし、「技あり」が2つで合せ技「一本」とする。
- (6) 抑え込みの時間は20秒で「一本」、15秒以上で「技あり」、10秒以上で「有効」とする。

## 6 東海地区予選への出場権

1, 2位の選手は、令和5年3月5日(日)大垣市武道館で開催される東海地区予選の出場権を得る。



## 7 出場申込

- (1) 出場者が、別紙様式1に従い、直接下記の岐阜県柔道協会宛に申し込む。参加料は当日受付で集金する。
- (2) 申込先  
〒500-8384  
岐阜市藪田南1-11-12 水産会館6階612号  
岐阜県柔道協会 事務局 宛
- (3) 申込期限  
令和4年11月4日(金)

## 8 派遣審判員(審判長を除く)

岐阜地区 6名 西濃地区 1名 中濃地区 3名

※ 原則審判Aライセンス所持者を派遣

別紙様式2により試合申込期限までに報告すること

〒500-8384  
岐阜市藪田南1-11-12 水産会館6階612号  
岐阜県柔道協会 事務局 宛

## 9 補助員

岐阜県警察4名、岐阜刑務所4名

## 10 その他

### ○ 中高生について

- (1) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において、必ず確認すること。感染が疑わしい若しくは感染が判明した場合は、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。  
選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会に出場できない場合もある。
- (2) 脳震盪について、選手および指導者は下記事項を順守すること。
  - ・ 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
  - ・ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。  
(なお、至急、専門医[脳神経外科]の精査を受けること)
  - ・ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
  - ・ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

# 第53回岐阜県少年柔道大会兼全国少年柔道大会岐阜県予選

## 1 日時

令和5年3月12日(日) ※少年部総会 9:00～10:00

- 役員集合・会場準備 8:30
- 開場 9:30
- 受付 9:30～10:10
- 審判監督会議 10:15
- 開会式 10:45

## 2 場所

大垣市武道館 (大垣市米野2-1-1 TEL0584-88-2550)

## 3 試合種別(団体試合)

- (1) 中学年の部(全国少年柔道大会県予選の部を兼ねる)
- (2) 高学年の部(5・6年生にかぎる)
- (3) 低学年の部(3・4年生にかぎる)

## 4 参加資格

- (1) 県内在住の小学生で保護者の承諾を受けた者。
- (2) 今年度岐阜県柔道協会に団体登録をした団体であること。(混成チームは認めない)
- (3) 中学年の部は全日本柔道少年団(講道館)に2022年度の団体登録をした団体であること。
  
- (4) 出場は各団体、種別ごと1チームとする。
- (5) 監督は公認柔道指導者資格を有する者とする。
- (6) 同一団体内のチームにおいて監督を兼ねることはできるが、試合時間が重なった場合は、必ず監督代行者がベンチに入ること。

## 5 チーム編成

- (1) 中学年の部(全国少年柔道大会県予選の部)
  - ・ 監督1名、選手5名、補欠2名とする。
  - ・ 大将、副将、中堅は5年生。次鋒、先鋒は4年生又は3年生とし、学年順に配列する。但し、下学年の児童が上学年の児童の位置に出場することはできる。また、選手は各学年順に配列し、同学年内は「体重順」に配列すること。
    - ※優勝チームは5月5日に講道館で開催される全国大会の出場権を得る。
    - ※優勝チームの選手の内から4年生または3年生1名、5年生1名、計2名が本大会の個人戦に出場できる。
- (2) 高学年の部(5・6年生)及び低学年の部(3・4年生)
  - ・ 監督1名、選手5名、補欠1名とする。
  - ・ 選手は、学年の低い者より配列した上で体重の軽い者順とする。選手が欠ける場合は後詰めで配列する。

## 6 試合方法

- (1) トーナメント戦で行う。
- (2) 各チーム5名の点取り対抗戦とし、試合ごとのオーダー変更は認めない。
- (3) 試合時間は高学年・低学年は2分、中学年は3分とする。
- (4) 最新の国際柔道連盟試合審判規定・少年大会申し合わせ事項による。
- (5) 団体戦の内容が同等の場合は、「引き分け」の中から抽選で一組を選んで、高学年・低学年は2分間、中学年は3分間の代表戦を行い時間内に必ず勝敗を決する。
- (6) 補欠は正選手が怪我などで出場できなくなった場合のみ出場することができる。
- (7) 選手はゼッケンを着用すること。

## 7 参加費

1チーム 3,000円(大会当日受付にて集金)

## 8 申込

- (1) 参加チームは別紙様式1により、下記宛メール又は郵送(FAX可、但し要確認電話)にて申し込むこと。
- (2) 申込先  
〒500-8384  
岐阜市藪田南1-11-12 水産会館6階612号  
岐阜県柔道協会 事務局 宛  
電話058-275-5313 FAX058-216-1500
- (3) 申込期限  
令和5年2月17日(金)

## 9 選手変更

- ・選手変更は、大会4日前の3月8日(水)までに前記県事務局へ別紙様式によりメール又は郵送(FAX可、但し要確認電話)で直接申し込むこと。
- ・選手変更期間終了後に怪我などでの変更ある場合は、補欠で対応し大会当日受付時に報告すること。また、当日種別を跨いだ選手変更は認めないので、例えば中学年の部の補充に、高学年又は中学年の登録選手を補充することはできない。

## 10 組み合わせ

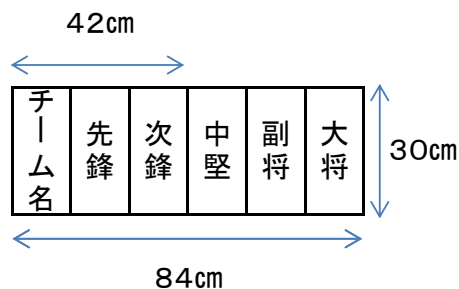
主催者が、前年度の大会を参考にして県総会時に抽選する。

## 11 安全対策

登録選手は、各チームにおいて傷害保険に必ず入っておくこと。

## 12 オーダー表

A3用を横に2枚つなげて、向かって左よりチーム名、先鋒・・・大将の順に墨書きで記入持参し、大会当日受付に提出する。



## 13 派遣審判員(審判長除く)

岐阜地区8名、西濃地区8名、中濃地区4名、東濃地区2名、飛騨地区2名

各地区は、別紙様式2により試合申込期限までに報告すること。(試合申込先に同じ)

## 14 補助員

少年部に一任(20名)

## 15 その他

- (1) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において、必ず確認すること。感染が疑わしい若しくは感染が判明した場合は、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。  
選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会に出場できない場合もある。
- (2) 脳震盪について、選手および指導者は下記事項を順守すること。
  - ・ 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
  - ・ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。  
(なお、至急、専門医[脳神経外科]の精査を受けること)
  - ・ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
  - ・ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。